

文化・芸術

原画名：ジエンティール・ダ・フアブリアーノ
「東方三博士の礼拝」(部分)

原画制作年：1423年

板、麻布、石膏(せつこう)地、石膏レリーフ、卵テンペラ、金箔、銀箔、刻印、ワニス、40・0センチ×30・0センチ

松澤周子

東方三博士の礼拝とは、星に導かれ東方からやってきた占星術の博士たちが、生まれたばかりのイエスに礼拝し贈り物をする場面です。原画は縦3尺、横2・82尺の大きな祭壇画で、礼拝する三博士とそれに続く人々、動物たちが描かれています。この模写作品に描かれている人物2人は博士ではなく、原画の中では三博士のすぐ後ろに立っている人物になります。ではこの2人は誰なのか。原画である祭壇画を注文した銀行家(夕力を持つ人物)とその息子(正面を向く人物)といわれています。

松澤氏はギャラリートークにおいて、技法的に面白いからこの部分を模写したと語りました。黒い色は銀箔を酸化させて生み出し、金箔であらわされた洋服の花柄一つ一つの中心には刻印が施されています。夕力の脚についている鈴や画面左の見切れている人物の帽子の飾りが立体的になっているなど、さまざまな技法がこの部分だけで使われているのです。(池田)

〈名画の扉〉

大川美術館企画展から

